

平成 22 年 8 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社メディックグループ
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号 2369:東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 門井 豊
(Tel: 03-6415-4031)

当社グループが開発中の抗がん剤 Glufosfamide に関するお知らせ
～米国での第 相臨床試験計画に進展がみられました～

Glufosfamide (以下、グルフォスファミドという。) に関しての欧米における開発パートナーである Eleison Pharmaceuticals, Inc. (以下、エリソン社という。) は、「すい臓がん」治療の候補薬としてグルフォスファミドの新たな第 相臨床試験 (以下、本試験という。) の開発準備を進めております。平成 22 年 2 月 18 日当社公表の「抗がん剤 Glufosfamide の米国における第 相臨床試験の再開について」より、このたび本試験計画に進展がみられましたのでお知らせいたします。

エリソン社では本試験に関する Special Protocol Assessment (SPA) を FDA (米国食品医薬品局) に提出し、受理されています。本試験は Threshold Pharmaceuticals, Inc. (以下、スレッシュホールド社という。) が行った第 相臨床試験の結果に基づいて有効性を示すことができるとされる集団に対しての試験が計画され、本試験の担当責任医師はエール大学の Howard S. Hochster 教授に決定いたしました。また、本試験では、グルフォスファミドを第 2 選択 (2nd-Line) 治療薬として評価するもので、期間といたしまして 2011 年第 1 四半期に本試験を開始し、2012 年に終了することを予定しています。

エリソン社は平成 21 年 10 月にスレッシュホールド社よりグルフォスファミドの開発権利の譲渡を受けており、現在、当社子会社であるメディックファーマにおいてエリソン社と開発に関する連携を進めております。なお、当社は日本国内を含むアジア地域における開発、販売権をスレッシュホールド社より平成 16 年に譲受けております。

当社グループにおきましては、スレッシュホールド社との間で、日本を含めたアジア地域においてグルフォスファミドの開発及び販売を行うための「共同開発契約」を締結し、日本国内第 相臨床試験を終了しております。今回のエリソン社における第 相臨床試験の再開により、グルフォスファミドのさらなる開発進展の可能性が高まっており、引き続き中国を含めたアジア諸国の製薬メーカー等に共同開発あるいはライセンスアウト等の交渉を行っていく予定であります。

なお、本件が平成 22 年 12 月期 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日) における連結業績見通しに与える影響は軽微であります。

ご参考

Eleison Pharmaceuticals, Inc. (エリソン社)

所在地 103 Carnegie Center, Suite 300 Princeton, NJ 08540

代表者 CEO Edwin J.Thomas

U R L <http://eleison-pharma.com/>

すい臓がんとは・・・

すい臓がんは、米国ではガンによる死因の第4位となっており、毎年約40,000人のすい臓がん患者が報告されています。しかしながら未だすい臓がんには有効な薬剤は限定的であり、複数の抗がん剤の中からでの選択の余地はなく、開発の必要が強く求められています。すい臓がんは、生存率が非常に低く、難治性疾患の一つにあげられています。

株式会社メディックグループ

当社グループは、個人の体質に合わせて副作用の少なく効果の高い薬を処方できるテーラーメイド創薬の実現を目指す企業です。具体的には、医薬品開発や研究などを行う製薬企業や研究機関などに対し、個別化医療やテーラーメイド創薬を推進するサービスや製品を提供しています。

薬の効き目の個人差を示す体質は、遺伝子によって決められています。個人の遺伝子タイプが分かれば、体質に合ったより効果の高い薬を選択し処方することができます。また、投薬前に効果を確認することで、副作用も最小限に留めることができます。このため、製薬企業では遺伝子と薬の関係を調べて医薬品開発をするようになってきています。そこで必要となるのが、PGx（ファーマコゲノミクス）です。

当社グループは、PGxを総合的・戦略的に支援できる体制を整えています。当社グループが独自に築いた、バイオ最先端の技術・情報網、そして医療機関・製薬企業などとの幅広い人的ネットワークの活用により、PGxに対するニーズを的確に掴み、顧客の要望に適した満足度の高いサービスを提供しています。

また、これまでに蓄えてきたノウハウを個人向け健康管理支援サービスとして展開しております。

当社グループは、個の医療と個の健康管理を総合的・戦略的に支援できるユニークな存在として実績を積み重ねることにより、圧倒的に優位なビジネスポジションを築いています。

当社グループの詳細情報は、www.medibic.com をご覧ください。

以上